

平成29年度第5回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1 日 時：平成29年10月26日（木）
午後1時30分～4時30分

2 場 所：鹿島区役所大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数14名

【出席委員名】 10名

五賀和雄、丹野常昭、多田和夫、大塚悦子、豊田ミサ子、
大内 彰、星ちづ子、但野喜直、西 道典、前田典郎

【欠席委員名】 4名

松野豊喜、森 和浩、菅野行雄、渡部裕幸

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に丹野常昭委員と但野喜直委員を指名。

5 議事

(1) 諮問事項

①有害鳥獣焼却施設整備事業について

○五賀会長

それでは、諮問事項に入ります。担当より説明を求めます。

○市民生活部次長

概要説明

○生活環境課衛生施設係長

資料により説明

○五賀会長

只今、担当より説明が終わりました。委員の皆様から質問はございますか。

○前田委員

私個人としては賛成ですが、何点か質問をします。①市独自で整備するものとありますが、資料4の記載に相馬市と新地町の鳥獣処理が入ってくるものが書いてありますが、どういうことですか。実際そうなのであれば市外の鳥獣は使用料を取って使わせるのですか？鹿島では個人の所有地に埋めている場合もあります。こういった場合、謝礼金等は出しているのですか？

○生活環境課衛生施設係長

資料4につきましては、参考資料として相馬市の施設の情報が記載されたものとなっております。そのため、相馬の施設では相馬市と新地町の鳥獣を受け入れており、南相馬市は南相馬市の鳥獣のみとなります。2点目の埋設している場合についてですが、小高区の旧警戒区域については市の土地へ埋設しております。その他の埋設については補助等の関与はしておりません。

○前田委員

チェックもしていないし、お礼も出していないということですか？

○市民生活部次長

焼却所を担当している部署なので、その部分は把握しておりません。

○前田委員

資料1に管理運営について、運営は直営も含め検討と記載してありますが委託となる可能性もありますか？運営についてどこかにお願いをして真野交流センターのように不祥事があると困ります。

○生活環境課衛生施設係長

建設後の運営については直営か委託か検討中です。今のところは直営の予定です。

○丹野副会長

この施設はイノシシの焼却のみを行う施設なのですか？また、完全焼却と

なりますか？

○生活環境課衛生施設係長

イノシシが主ですが、市指定の有害鳥獣であるニホンザル、イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキの処理も行います。焼却率は1,500頭を焼却すると年間で焼却灰が2㎡程度、年間で飛灰は30kg程度と見込んでいます。

○前田委員

資料2ページに反対意見がなかったと書いてあり、これについては良いですが、4ページに用地取得と書いてありますが、地権者に反対されたらどうするのですか？

○生活環境課衛生施設係長

建設地については確保しています。用地取得が必要な部分については施設とのアクセスの部分の土地です。この部分についても地権者の了承を受けています。

○但野委員

目標1,500頭となっていますが、この頭数を捕獲して施設が必要とされないくらいに減ることはないのですか？

○生活環境課衛生施設係長

繁殖スピードも高く1,500頭が減ることはないと思われます。しかし、将来何十年後かには少なくなるかもしれません。

○丹野副会長

先ほどのイノシシのみの焼却を行う施設かを聞いた際の回答でサルは入っていましたか？

○生活環境課衛生施設係長

入っております。

○大内委員

現在埋設しているのは平成29・30年はどのように処理するのですか？

○生活環境課衛生施設担当係長

平成29、30年度は引き続き市のクリーンセンターに埋設していきます。

○多田委員

分かる範囲で構いませんが、相馬・双葉郡の対応を教えてください。また、南相馬市で建設する施設について相馬の施設と能力が同じようですが建設に必要な面積が南相馬市の方が大きいのはなぜでしょうか？

○生活環境課衛生施設係長

相馬市は750頭程度焼却できる施設で、現在750頭は焼却していない状況です。双葉郡については微生物を利用した実証実験を行うことで進んで

いるようで、焼却施設はありません。南相馬市と相馬市の施設の違いについてですが、相馬市は焼却炉が1基、南相馬市は焼却炉を2基建設するという事で面積に違いが出ています。

○五賀会長

その他、質問等ございませんか？では、質問等ないので答申のま
とめに入ります。原案どおり、妥当と判断することにご異議ございませんか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では、原案のとおり妥当といたします。

(2) 報告事項

①南相馬市病院事業の設置等に関する条例の一部改正(案)に係るパブリックコメントの実施について

○五賀会長

それでは報告事項に入ります。(2)報告事項①南相馬市病院事業の設置
等に関する条例の一部改正(案)に係るパブリックコメントの実施について
担当より説明を求めます。

○総合病院事務次長兼事務課長

概要について説明

○総合病院事務課総務係長

資料により説明

○五賀会長

只今、説明が終わりました。質問等ございましたらお受けします。

○前田委員

私個人としてはいいと思います。関連で小高区の住民が2,000人強し
か戻らないので小高ではやって行けずこうなったのだと思いますが、鹿島厚
生病院について何千万と赤字補てんをしています。小高はいくら赤字があ
って補てんをしていたのですか？また、交付事業の上限と期限について教え
てください。

○鹿島区地域振興課長

まず、鹿島厚生病院の件について回答させていただきます。鹿島厚生病院
については総務省から上限が定められます。昨年でいうと1床あたり8万
2千円を国からの特別交付税と一部市の一般財源を用い、市から補助金を交
付しています。この対象は公的病院となっています。

○小高病院事務部長

鹿島厚生病院については鹿島区地域振興課長が説明されたとおりです。小高病院については震災以前に「不採算地区病院（小高病院）の運営に要する経費に係る一般会計負担金ということで市から8,000万円程度くり出しということで出していたかと思えます。小高病院がこのようになった理由は医師、医療従事者不足が顕著で県平均の半分にも満たない状況等からであり、今後は地域医療を維持できるようにするため、無床診療所として初期医療を担うこととなります。99床を保健所に返すという考え方もあり得ますが、市の総合病院へ移すことで機能を強化し対応することとなりました。

○前田委員

了解しました。

○丹野副会長

病院がなくなるわけではないのでこの対応については仕方ないと思えます。ただ、小高区の行政区長会長が心配しているのはこれが帰還の妨げになるのではないかということです。そこで、小高区に帰っている人、帰ろうとしている人の意見はどういったものですか？

○小高病院事務部長

市全体の中でも復興計画の実施計画の中で学校は開校し、医療福祉はどうなるのかという意見があります。帰還するためには安全で安心な生活が重要であると考えています。現在小高区では2つの医療機関しか開いていません。今後は総合病院のサテライト診療所として、連携して、今までの不安を解消できるよう対応しなければならないと考えます。

○丹野副会長

不安払しょくのPRをお願いしたいです。

○小高病院事務部長

小高区に戻っている方の半分以上が65歳以上で今住んでいる方の安心がなければ帰還する方も不安だと思えます。引き続き対応していきます。

○五賀会長

他に無いようでしたら、「①南相馬市病院事業の設置等に関する条例の一部改（案）」に係るパブリックコメントの実施について」了承することとします。

～一時休憩～

(3) 協議事項

①鹿島区地域ビジョンについて

○五賀会長

では議事を再開します。「(3) 協議事項 ①鹿島区地域ビジョンについて」事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

今回協議いただく内容については前回委員から意見がありましたとおり、完了か継続かについて今までのアンケート等から判断をし、資料5を作成しました。資料6についてはアンケートを項目ごとに完了か継続かのグラフとなっています。合計が100%とならないのは未回答及び無回答の方がいるためです。資料7については以前お渡しさせていただいたものですが、参考に付けました。完了については項目ごと事務局で説明させていただき、参考について事務局で判断しかねるもので、今回委員の皆さんで協議いただき、完了か継続か判断していただきたいと思っております。進め方についてですが、完了及び検討について事務局で説明をして会長へお返しをし、検討という形でよろしいでしょうか？

○五賀会長

はい。只今、事務局から説明のありました形で進めていきたいと思えます。では活力あふれるコミュニティのまち①定住人口の確保について1)、2)共に完了となっております。事務局より説明をお願いいたします。

○鹿島区地域振興課振興係長

判断理由について説明させていただきます。「1)の移住希望者のための住宅地の確保」については被災者入居住宅の建設が完了したことや、アンケートの結果で完了が継続より回答が多かったことから完了と判断しました。「2)の高齢者に配慮した公営住宅建設」について50%に満たないまでも継続より完了という回答が多いことから完了としたところです。

○五賀会長

只今事務局より説明のありました件について完了ということでもまとめていただきましたが、ご意見ございませんか？

○前田委員

災害公営住宅の入居率や空き状況また、空いた場合には再募集はあるのでしょうか？

○鹿島区産業建設課長

住む場所ということで集団移転の場所は完売しています。また、災害公営住宅に空きはなく、空けば再募集をかけますが、すぐ埋まる状況です。

○前田委員

自殺があった部屋でもきれいにして貸すのでしょうか？

○鹿島区産業建設課長

その件について入居希望者へ公表し、入居を希望するか確認しています。

○五賀会長

1)、2)については完了でご異議ございませんか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

「②コミュニティの再生」について継続のみですので継続という判断でご異議ございませんか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では、「③にぎわいづくり」について検討の部分の説明を事務局よりお願いいたします。

○鹿島区地域振興課振興係長

「4) 世代間交流の場を設け交流事業の展開」について策定時はまごころセンターの整備という意見がありました。かしま交流センターの整備が完了し、自主事業も実施しているため事務局としては完了と捉えています。今回検討としたのは2ページ目の3) 世代間交流ができる場所づくりという近い項目があります。策定時の意見も同じものであったため、1つにまとめられればと思い検討としたところです。「6) のペットと人が共生できる快適な環境づくりの推進」の項目については策定当時の目標と現時点での目標に違いが出ているため検討としました。具体的には策定当時はドイツのペット教育である殺処分のない環境づくりが目標でした。しかし、現在はドッグランなどの施設の設置が課題として挙がっています。項目を誰が見ても分かりやすい内容にするかも含めて検討いただければと思います。

○五賀会長

只今、事務局より説明のありましたこの項目について、皆さんから意見はありますか？

○西委員

この項目について私が意見を出しました。ドイツのペット教育については道にうんちをしないなど、犬の教育が行き届いているため説明のあった殺処分の件も含めて項目に入れていただきました。

○鹿島区地域振興課振興係長

西委員の意見からすると飼い主のマナーがきちんとするようになる項目に変える形で対応してはどうでしょうか。

○西委員

しつけについてドイツではしつけを行ってくれる施設があり、そういう施設があればいいと思います。

○星委員

西委員の意見は実現すれば理想的ですが、まち全体でやるには大がかりで大変です。

○丹野副会長

ペットは嗜好品です。まちづくりで検討するものではないのではないのでしょうか？ペットは個人で飼うもので、嫌いな人もいます。飼っている人のモラルの問題でしょう。

○五賀会長

当初の項目が抽象的だったので項目を具体的にした方がよいのではないのでしょうか。

○鹿島区地域振興課長

お話しいただいたもので完了として、今意見の挙げたとおり新たな項目を入れることとしたいと思います。

○五賀会長

「6)のペットと人が共生できる快適な環境づくりの推進」については完了とすることでご異議ございませんか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では「④土地利用計画の策定」について1)鹿島区全体の土地利用の方向性の策定は国土利用計画を策定したので完了としてよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では完了とします。「2)仮設住宅用地の跡地利用」「3)市営大谷地住宅の跡地利用」については継続としてよろしいですか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では2ページ目の地域資源を活かす産業と交流のまち①農林水産業への支援については1)～4)まで継続となっています。継続でよろしいのでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

「②街なか活性化」について3) 世代間交流ができる場所づくりについては先ほど完了としましたので「1) 鹿島駅周辺と商店街の活性化」、「2) 商店街の活性化」について継続としてよろしいですか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に「③新たな産業創出」について1) 再生可能エネルギーを活用した先進的なまちづくり、2) 工業団地造成、企業誘致及び雇用確保の推進、3) サービスエリアを活かした地域の振興は継続としてよろしいですか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に「④雇用創出・確保 1) 区役所での雇用相談の実施」について検討となっております。事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

市として雇用の確保について区役所で雇用相談を実施するのは難しいですが、市として考えると福島県のふくしま生活・就職応援センターという求職者に対して支援を行うための相談所を南相馬市を含む県内4か所に設置していることや、みなみそうま就職ナビというスマートフォンのアプリから就職を希望する業種を検索できる機能があるツールを配信していますので完了という形としたいと考えます。

○五賀会長

只今事務局から説明のありました項目について質問等ありますか。

○丹野副会長

区役所で行うのが難しいことや現状から考えるとビジョンに載せることは合わないのではないのでしょうか？なので、この項目は削除した方がよいのではないのでしょうか。

○五賀会長

只今、丹野委員から意見が出ました。区役所で行うことが難しいことや現状から考えてビジョンに載せることが適当でないという判断からこの項目は削除することよろしいでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

「⑤観光の振興」6) 一本松を活かした商品と観光コースの開発について検討となっております。事務局より説明をお願いいたします。

○鹿島区地域振興課振興係長

この項目と類似している項目である5ページの「②災害に強いまちの創造
7) 一本松を活かした復興のシンボルづくり」についてまとめて説明させていただきます。これらの項目について一本松太郎というキャラクターができ、キャラクターを活かしたお菓子が開発され、販売されております。こういったことから鹿島の本松は認知度が上がったと思われます。今後の課題として上げられたのは伐採後どうしていくのかということです。これらの項目についての判断を協議いただければと思ひます。

○五賀会長

只今、事務局から説明のありました項目について質問等ございますか。

○前田委員

この項目については会長から進捗状況を確認した方が良いかと思ひます。観光コースの開発については伐採後どうするかが問題です。

○五賀会長

では、私の方から現状について説明させていただきます。かしまの本松は伐採が決まっております。伐採後は一本松の子孫が育っていますので、その子孫の生育地に案内板を設置してパークとしていく計画が進んでいます。皆さんの意見もあると思ひますが、ビジョンの中に一本松という固有名詞を残していただきたいという思ひもあります。

○丹野副会長

観光コースというといくつかのコースがあつて観光コースだと思ひますが、一本松の他にありますか？

○鹿島区地域振興課振興係長

項目の文言を変える形でいかがでしょうか。

○丹野副会長

子孫の育ち具合を見て項目として入れるか判断してはどうか。

○豊田委員

昨年視察研修で行つた(株)日立パワーソリューションズの話では、公園として一本松を残すということではなかつたですか？

○五賀会長

もう、残すことが出来ない状態です。子孫を別の場所に植栽することになりました。

○鹿島区地域振興課長

ここまでの話で観光コースが他にあるのかという意見が出ましたが、項目を観光コースの開発とし、長期計画ということで名称を変える形でどうでしょうか。

○五賀会長

その形で良いでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では「⑤観光の振興」について1)～5)まで継続、6)については継続とし、項目を変える形で対応することとします。

次に3ページの「健やかに安心して暮らせるまち」①住民の健康管理支援

1)～4)について継続となっておりますがよろしいでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

次に「②医療機関、老人介護施設の充実」について検討となっている2) 原発事故に伴う医療費の無料化、完了となっている4) 独居暮らし、寝たきり、高齢者家庭に緊急通報用の電話機の設置、5) 老人福祉施設・介護施設の増設について事務局より説明をお願いいたします。

○鹿島区地域振興課振興係長

2) 原発事故に伴う医療費の無料化と関連する項目である5ページ⑥賠償・補償の支援の1) 賠償の差別問題の解消についてまとめて説明させていただきます。この2つの項目について正反対の意見がアンケートの意見で出ています。具体的には問題にする時期ではないという意見と、不平等感の解消を強く望む意見があります。事務局としては差別の解消を望んでいることを示すためにも、このビジョンには継続して載せる形を考えています。4) の完了については緊急通報システムの設置が進んでいること。5) についてはユニット型小規模施設万葉園が完成したことから完了としました。このことについて委員のみなさんで判断をお願いいたします。

○五賀会長

只今、事務局より説明のありました4つの項目について協議したいと思います。皆さんから意見等ございますか？

○丹野副会長

2) 原発事故に伴う医療費の無料化と関連する項目である5ページ⑥賠償・補償の支援の1) 賠償の差別問題の解消については地域振興係長がお話しのとおり鹿島区民は税の減免や無料措置など受けていないことを風化させないためにも残した方が良くと思います。

○前田委員

30km圏外の部分について市ではもうあきらめているのですか？

○鹿島区地域振興課長

原発から30km圏外の部分の差別解消についての要望は市長名で継続して行っています。

○大塚委員

最近集団訴訟をして勝訴となった人の中に鹿島の人はいいますか？

○鹿島区地域振興課長

承知しておりません

○大塚委員

厳しいでもどうしてもならないなら削除すればいいのではないですか？

○西委員

私は削除であると考えます。この項目は無料化ではなく、原町区も無料の対象外とする形ではどうでしょうか？

○五賀会長

訴訟とこの問題は別です。真剣に考えていただきたい。

○前田委員

継続でも、無くしてもどっちでも良いです。

○丹野副会長

これらはなくす必要はありません。原発事故はまだ終わった訳ではありません。完了とはならないと考えます。

○五賀会長

これが最終決定ではないのでここまでの意見でまとめていきたいと思いません。

○鹿島区地域振興課振興係長

平等感をもつため、この項目について継続として項目を変える形で対応していく形でいかがでしょうか。

○五賀会長

只今事務局より提案のあったとおり、継続として項目を変えるようにするのが「2) 原発事故に伴う医療費の無料化」と5ページ目の⑥賠償・補償の支援「1) 賠償の差別問題の解消」です。その他の項目について資料のとおりでよろしいでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

次に、③子育て関連施設の充実について1) 屋内外の遊び場・プールなどの子育て支援施設の確保と3) 鹿島区内の小学校単位に児童館を設置について完了となっています。事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

1) 屋内外の遊び場・プールなどの子育て支援施設の確保についてはアンケートの結果を見ていただくと分かるとおりの意見が継続の意見より多く、区内に2か所の屋内遊び場が完成したことから完了としました。3) の鹿島区内の小学校単位に児童館を設置についてアンケートの意見で完了の意見が継続の意見より多かったため完了としました。委員の皆さんで協議をお願いいたします。

○五賀会長

只今事務局より説明のありました2項目について皆さんからご意見ございますか。

○丹野副会長

東根市に行ってきた遊びから学ぶ教育ということで東根市で視察した施設は大した物だと思いました。

○鹿島区地域振興課長

新たに外で遊べる施設のご意見だと思いますのでこの項目は完了として新たな課題として入れることで対応したいと思いますがいかがでしょうか。

○五賀会長

では只今事務局から提案のあったとおりの項目は完了とし、丹野委員の意見は新たな課題としての意見とすることでよろしいでしょうか。

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

次に進みます。地域に学び育つまち①教育環境の充実 2) 県立相馬養護学校の誘致推進が完了となっております。事務局より説明をお願いいたします。

○鹿島区地域振興係長

この項目については誘致は完了しており、平成30年代の早い時期に完成することが決定したため、完了としました。

○五賀会長

只今、事務局より説明がありました。この項目について委員の皆さんから意見等ございますか？

○前田委員

この項目について「県立相馬養護学校の誘致推進」とありますが、「県立相馬支援学校」になったのではありませんか？変わっているのであればこの項目の名称を変えた方がよいのではないのでしょうか？また、これはなぜ名称が変わったのですか？

○鹿島区地域振興課振興係長

はい。名称が県立相馬支援学校に変わりました。ですので、この項目の名称も県立相馬支援学校に修正します。名称が変わった理由について学校教育法の改正に伴い、「養護学校を特別支援学校」とすることとなった為、県では平成29年4月より県内の養護学校等の名称を変えました。

○五賀会長

その他、委員から何かありますか？なければ、資料記載のとおりでよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に②芸術、文化、スポーツ活動の環境整備について1)～5)まで継続となっています。こちらについてこのままでよろしいかご意見ございますか？

○丹野副会長

5)の区内マラソン大会の実施という項目について継続となっていますが、本当に継続としてよいのか疑問が残ります。実施するには人員確保の問題やまちづくり委員会の事業でいろいろ実施していますが、そのスポーツ関係の事業だけでも人数が必要なのに区全体でマラソン大会が実施できるのかという疑問があります。

○鹿島区地域振興課長

バレーボール大会、駅伝などアンケートでも意見が出ていたので継続として団体へ聞く中で検討していきたいと思います。

○五賀会長

南相馬市で開催している野馬追マラソン大会は規模が大きくて出づらいという話もあります。元気スポーツクラブの自主事業でもウォーキングやマラソン、駅伝など考えているようです。

○多田委員

マラソンにこだわらず、スポーツにしてはどうですか？

○鹿島区地域振興課長

この項目について継続とし、今後検討する中で文言を直す形でいかがでしょうか？

○五賀会長

ではこの項目について継続とし、今後文言を検討する形でよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に③真野小跡地の活用に移ります。1)、2)について完了となっています。事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課振興係長

1) 真野小学校の西側校舎と体育館の活用及び2) 真野小グラウンドを整備し、多目的なグラウンドとして利用については完了の意見が継続の意見より多くあったことと、真野交流センターとして整備されたことから完了としました。これらについて委員の皆さんで協議をお願いいたします。

○五賀会長

只今、事務局より説明がありました。これらの項目について完了でよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に、④子どもの体力向上と肥満対策について事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興係長

1) 子どもの遊び場施設の設置について完了の意見が継続の意見より多くあったことや鹿島区内に2か所の施設を設置したことから完了としました。これについて委員の皆さんで協議をお願いいたします。

○五賀会長

こちらについて意見等ございますか？

○西委員

私も完了と思っていましたが、肥満という部分では子ども遊の問題で肥満が挙げられます。視察研修に参加された委員の皆さんから施設についてのアイデアをいただきつつ、継続として項目に入れておいてもいいのではないかと思います。

○丹野副会長

東根市のような施設はあってもいいと思います。今の子ども遊は暇さえあればパソコンやゲームなので。

○鹿島区地域振興係長

ここまでの話を伺っていると継続という形でしょうか？

○五賀会長

では、継続としてよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では、次に移ります。安全で災害に強いまち①放射性物質による汚染への対応2) 仮置き場の確保について完了となっています。事務局より説明をお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係長

2) 仮置き場の確保についてアンケートの結果完了という意見が50%を超えたことや、仮置き場の確保は完了したと判断し、完了としました。委員の皆さんで協議をお願いします。

○五賀会長

では、この項目について何か意見はございますか？なければ完了としてよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

では次に、②災害に強いまちの創造、③インフラの整備、④復興計画の早期・着実な推進、⑤賠償・補償の支援について継続のみです。これについて意見等ございますか？なければ資料のとおりでよろしいですか？

○委員より

「異議なし」の声

○五賀会長

その他何か意見ございますか？

○前田委員

真野川河川の中州をきれいにしてほしいです。

○鹿島区役所長

上栃窪の懇談会で出た意見だと思います。担当部長が県へ申し出をしています。市民説明会で報告があるものと思います。

○大塚委員

台風のとくに台所から水が見えました。早急にやってもらいたいです。

○鹿島区役所長

あくまで上栃窪の懇談会での話でしたが、真野川河川については対応の方向で考えているものと思います。

3) その他

①次回の地域協議会の日程について

○五賀会長

では次に（３）その他①次回の地域協議会の日程について事務局より説明を求めます。

○事務局

次回の地域協議会の日程について11月22日（水）午後1時30分からを予定しています。また、12月5日に専門家派遣の先生と地域ビジョンについての会をもつ予定です。12月の分については詳細が決まりましたらお知らせします。

○五賀会長

皆さん、事務局から提案のあった意見で何かありますか？なければ、提案のとおり実施することとします。

○五賀会長

その他皆さんから何かありますか？

○前田委員

鹿島区地域協議会だよりはいつ発行ですか？

○鹿島区地域振興係長

遅くとも11月15日号で発行する予定です。価は変わりますが、前回前田委員から質問のあった義援金について資料9でまとめました。なお、残金について国・県のを7万人で割ると百数十円にしかならないということで、再配分は未定との回答でした。

○前田委員

ありがとうございました。

○鹿島区地域振興課長

会長、区役所長のあいさつでもありましたが、高橋委員がお亡くなりになられたことで1名欠員となっています。任期もあと5か月程度で、平成30年度からの新しい委員を今後公募することから今年度については欠員とし、14名で開催していきますのでよろしくお願いいたします。

○五賀会長

その他委員から何かございますか。なければ、これを持ちまして本日の議題は全て終了しました。長時間にわたりご苦労様でした。

6 閉 会

以上のとおり相違ありません。

会 長 丹 野 和 昭

会議録署名人 丹 野 喜 直

会議録署名人 丹 野 常 昭